

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山北高等学校中島分校

学校番号 23

評価実施日

平成26年2月10日(月)

委

氏名

所属等

備考

勝田 昇

元中島町教育委員会教育長

田口 栄子

福祉介護事業経営

山本 祥平

自営業(農業)、元中島町消防団長

員

藤井 修二

松山市立中島中学校長

綱場 利至

P T A会長

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

1 指導目標とマニフェストについて

新しくマニフェストに盛り込んだ「社会人基礎力」はぜひ身に付けさせてもらいたい能力である。組織や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていくうえで必要な基礎的能力は、これからの社会にでていく高校生に必要な能力だと思う。

・生徒の実態に応じて、学習面での基礎・基本の徹底と生活面での基本的生活習慣の確立に努めた上で、さらに主体性・課題発見力・発信力等の育成にまで発展できるように努める。

2 今年度の最終評価について

(1) 学習指導

ア 家庭学習時間を増やすことは大切なことである。ただし、単に時間だけが目標値に達したかどうかだけに目を向けるよりも、生涯にわたって自ら学ぶ態度を育てるという大きな観点から、自分で何かやりたいことや課題を見つけて自ら取り組もうという意欲を持たせることによって、学習時間が増えていくということであってほしい。

・6月114分、9月123分、11月134分と、平均学習時間は着実に増加している。今後も効果的な課題の出し方を工夫することで、学習に対する意欲と態度の育成に努める。さらに、集計された学習時間だけにとらわれることなく、自ら学ぶ態度を育てるという目標から見た学習内容の深化と向上に努める。

イ 相互授業参観週間で見学したが、分かりやすく充実した授業をしていると感じる。

・基礎・基本の定着を図りつつ、思考力・判断力・表現力を育成するための授業改善を、今後も継続する。

ウ 総合的な学習の時間においては、自ら課題を見つけ自ら解決する力の育成を図ることを念頭において指導してほしい。

・3年間にわたって地域との交流を中心とした体験学習を通して学ぶというやり方が本校の生徒には適しており、今後も随時改善を加えながら体験学習を通して生きる力の育成に努める。

(2) 進路指導・生徒指導

ア 3年連続国公立大学にも進学しており、生徒の実態に合った進路指導ができています。本校に来れば学力面が大きく伸びるタイプの生徒がいるはずである。

・自然に恵まれた中での少人数教育によって進学実績も出ているということ、中学校にもさらにアピールして入学生数の増加を図る。

イ 1年を通して船通学している生徒の様子を注意して見ているが、勉強している生徒も多く、マナー面で問題を感じることはない。

・船通学中の生徒の態度について、昨年引き続き良い評価をいただいた。今後も、必要に応じてマナー向上の意識付けに努める。

(3) 防災

防災避難訓練では年1回松山市西消防署の消防士の指導を受けているようだが、中島には消防団員がおり、火災等の緊急時にはまず地元の消防団がかけつけるので、地元の消防団を含めた防災避難訓練の実施の検討をしようか。

・火災に限らず、地震、津波、風水害などの災害が発生した場合、災害初期はもちろんその終息までお世話になるのが地元の消防団である。防災避難訓練に、松山市西消防署だけでなく地元の消防団の参加も可能となるよう、検討したい。

3 県立高校再編整備について

今年度は入学生が25名となり、再編整備対象校から外れたことは本当によかった。今後も中島分校の良さを失わないようにしながら、地域に1つしかない高等学校の存続を図ってほしい。

・今年度も昨年度以上に中学校への働きかけを行った。地域に必要とされる高校であることが一番大事なことである。さらに旧松山市からの入学生を増やすことができるよう、引き続き情報の発信と交換を行っていききたい。